

現在、エチオピアに派遣されている伊藤さんから、手紙が届きました。



## 現地隊員からの便り

### エチオピアからの便り (2005/1/1記)

高知県青年海外協力隊OB会御中

16年度2次隊 エチオピア 理学療法師 伊藤智典

高知県でも本格的に寒さが厳しくなる季節であると思います。先日は餅、そば、カレーなどの入ったEMSを送っていただき、本当にありがとうございました。

また、ご連絡が遅れましたことも、お詫び申し上げます。OB会からの贈り物は他県の同期隊員にはなく、「粹なことするじゃないか」と、非常に羨ましがられました。

さて、近況報告を含めたお礼をOB会のHP上に書き込みさせていただきかけたのですが、現在ドミトリ一宿泊中で近くのネットカフェに行こうが、なんせネットのつながり、速度も悪いため、今回は手紙ということにさせていただきました。また機会をみてHPにアクセスしてみます。



ベルギー大使館でのパーティーで出会ったエチオピアの美女

さて、近況とエチオピアの紹介をを下記に報告させていただきます。機関紙などのご紹介、ご自由にお願ひします。

### エチオピア連邦民主共和国 (Federal Democratic Republic of Ethiopia)

首都:アジスアベバ

面積:110万4300km<sup>2</sup>(日本の約3倍)

人口:7106万人(FOA 2004)

人種:アムハラ族、ティグレ族、オロモ族など約80の部族

言語:アムハラ語、英語

宗教:キリスト教、イスラム教ほか

GNP:100ドル/一人当たり(Wor1d Bank 2002)

#### JICAボランティア派遣数

青年海外協力隊 派遣中 24名 累計 367名

シニア海外ボランティア派遣中 1名累 累計 1名

エチオピアに来て一ヶ月、初めての正月を迎えました。エチオピアの首都はアジスアベバで、現地のアムハラ語で、アジスは新しい、アベバは花、「新しい花」という意味らしいです。当初、首都の標高が約2400mあり、息切れすることもありましたが、今はどうにか身体もなじんできました。現在アムハラ語の勉強を中心に行ってお

ります。



街中、アラットキロのモニュメント。

同じ時期の日本と比べると当然暖かいのですが、アフリカというには朝晩の冷え込みがよ、最低気温は4℃まで下がります。先日、風邪をひいてから(熱が39℃も出ました)、寝るときは靴下を履いています。また、ずっと四国育ちで寒がりの私は、夜の外山時には必ずコートなどで厚着をすることにしています。

人々を少し紹介すると、ここの人々は、「明るい、楽しい」というアフリカのイメージと少し異なり、「恥ずかしがり屋で、おとなしい」そんな少し日本に似たような雰囲気を持っています。また、挨拶をととても重要視し、会釈(これも日本っぽい)や握手をし、仲の良い人になると約1分、お互いの体調のことや仕事の事について聞きあっています。

そして驚いた事の一番は、ビールが安いことや、生肉を食べている人がたくさんいることや、ひどい交通渋滞や、牛やロバが道を歩いていることでもありません。それは、男性も女性も、それどころかなんと同姓同士でも、手をつないで歩いている人が多いことです。若い人のみならず、少しご年配の人でも、仲のよい人同士は、手をつないで歩いています。

もし日本でやっていると少し疑われてしまいそうです。しかし、ここの人々は、友達や仲間を大切にする、そんな大切な文化をちゃんと築き上げてきたんだなと思いました。それを証拠に、他の国では珍しいことかもしれませんが、ここではキリスト教とムスリムの方がお互いを尊重しあい、国民の祝日やイベントなどもちゃんと両方が含まれた形となっています。



コーヒー発祥の地エチオピアのコーヒーセレモニーの様子

来週からはナザレットという街でビレッジステイがあり、1月18日には世界遺産のある赴任地、ゴンダールへ行きます。赴任場所は、この国で初めての理学療法学科が開設されるというゴンダール大学です。まだまだこれからで緊張もしていますが、エチオピアの人々の優しさ、大らかさを見習い、言語以外の勉強も、していこうと考えています。

最後に、高知県青年海外協力隊OB会の皆様に深く感謝します  
では、またご連絡します。